

# 令和5年度

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

# 事業報告書

学校法人 菊武学園

## I. 法人の概要

### 1. 基本情報

- ① 法人の名称 学校法人 菊 武 学 園
- ② 主たる事務所の住所 〒488-8711 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255 番地 5  
T E L (0561) 55-3020 F A X (0561) 55-3021  
ホームページアドレス：<http://www.kikutake.com/honbu>

### 2. 建学の精神

「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」

### 3. 学校法人の沿革

- 昭和 26 年 6 月 愛知県より菊武タイピスト学校（現：菊武ビジネス専門学校）設置認可
- 昭和 28 年 2 月 愛知県より学校法人高木学園（現：菊武学園）設立認可
- 昭和 37 年 2 月 学校法人高木学園を学校法人菊武学園に改称
- 昭和 37 年 4 月 守山女子商業高等学校（現：菊華高等学校）開設
- 昭和 40 年 4 月 名古屋女子商科短期大学（現：名古屋経営短期大学）開設
- 昭和 43 年 4 月 守山女子商業高等学校に通信制課程開設
- 昭和 44 年 4 月 菊武幼稚園開設
- 昭和 63 年 4 月 名古屋女子商科短期大学に経営情報科開設
- 平成 4 年 4 月 守山女子商業高等学校を菊華高等学校と改称し、全日制課程普通科開設。
- 平成 7 年 4 月 ビジネス教養専門学校エクセレンス開設
- 平成 12 年 4 月 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部開設
- 平成 16 年 4 月 名古屋産業大学大学院前期（修士）課程（環境マネジメント研究科）開設  
名古屋産業大学環境情報ビジネス学部に人間環境マネジメント学科増設
- 平成 19 年 4 月 名古屋経営短期大学ビジネス実務学科・人間情報学科の募集を停止し、2 学科  
を統合した形の総合ビジネス学科を開設。  
名古屋産業大学大学院後期（博士）課程（環境マネジメント研究科）開設。  
名古屋経営短期大学子ども学科開設。
- 平成 20 年 4 月 名古屋経営短期大学健康福祉学科開設。
- 平成 23 年 4 月 稲葉保育園開設、菊華高等学校にスポーツアクトコース開設
- 平成 24 年 4 月 ビジネス教養専門学校エクセレンスの校名を変更  
専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院に改称する。
- 平成 26 年 4 月 名古屋経営短期大学総合ビジネス学科の募集を停止し、未来キャリア学科開設。
- 平成 27 年 4 月 菊華高校通信制課程普通科（単位制）開設
- 平成 29 年 4 月 名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部を現代ビジネス学部に改称
- 令和 3 年 4 月 名古屋産業大学現代ビジネス学部に経営専門職学科 開設

#### 4. 設置する学校の学部、学科および各学校の入学定員、現員数

令和5年5月1日現在

学 校 名	学部・学科・課程名等	入学定員	収容定員	入学者数	現員数
名古屋産業大学大学院 名古屋産業大学	環境マネジメント研究科	前期課程 10人	20人	0人	7人
	環境マネジメント専攻	後期課程 3人	9人	3人	5人
	現代ビジネス学部				
	現代ビジネス学科	150人	690人	150人	693人
	経営専門職学科	40人	80人	15人	43人
名古屋経営短期大学	未来キャリア学科	70人	170人	41人	98人
	子ども学科	50人	150人	26人	86人
	健康福祉学科	30人	90人	14人	29人
菊華高等学校	全日制課程 IT ビジネス科	270人	810人	98人	217人
	全日制課程普通科	90人	270人	269人	770人
	通信制課程商業科	150人	450人	242人	651人
	通信制課程普通科(単位制)	80人	240人	12人	78人
菊武幼稚園		69人	209人	42人	157人
菊武ビジネス専門学校	商業実務専門課程	80人	80人	42人	42人
	商業実務高等課程	240人	720人	242人	651人
専門学校NWF B	商業実務専門課程	160人	280人	165人	262人
	文化教養専門課程	40人	80人	16人	37人
合 計		1,532人	4,348人	1,377人	3,826人

※学校名の専門学校NWF Bは、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院を言う

#### 5. 設置する各学校の収容定員充足率の推移

各年度5月1日現在

学 校 名	平成元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
名古屋産業大学	72.2%	92.1%	96.1%	96.4%	93.6%
名古屋経営短期大学	65.7%	72.4%	71.0%	55.7%	60.8%
菊華高等学校	70.8%	69.7%	74.9%	86.7%	96.9%
菊武幼稚園	103.8%	96.2%	89.9%	83.7%	75.1%
菊武ビジネス専門学校	48.5%	51.9%	62.6%	76.7%	86.6%
専門学校NWF B	77.5%	85.3%	79.1%	69.1%	83.1%

※学校名の専門学校NWF Bは、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院を言う。

#### 6. 役員に関する事項

当学園の令和6年3月31日現在の選任区分別理事及び監事は以下のとおりです。

寄附行為に定めた理事定数は8~11人、監事定数は2~3人で、欠員はありません。

理事現員数 10 人、監事現員数 2 人

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	選 任 区 分	就 任 年 月 日	任 期	備 考
理 事 長	高 木 弘 恵	学 長	平成 21 年 4 月 1 日	学長退任時	常勤
常務理事	高 木 清 秀	学識経験者	平成 21 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	常勤
財務理事	山 口 淳	評 議 員	平成 21 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	常勤
理 事	山 岸 鳴 門	校 長	平成 22 年 4 月 1 日	校長退任時	常勤
理 事	鈴 木 悦 子	校 長	平成 27 年 4 月 1 日	校長退任時	常勤
理 事	渡 邊 哲 郎	評 議 員	平成 24 年 5 月 18 日	令和 8 年 3 月 31 日	非常勤
理 事	井 元 明 正	学識経験者	平成 4 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	非常勤
理 事	吉 田 雅 樹	学識経験者	平成 8 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	非常勤
理 事	岡 谷 篤 一	学識経験者	平成 14 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	非常勤
理 事	伊 藤 雅 一	学識経験者	平成 21 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	常勤
監 事	那 須 國 宏		平成 11 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	非常勤
監 事	水 野 武 文		令和 3 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	非常勤

## 7. 評議員に関する事項

当学園の令和 6 年 3 月 31 日現在の選任区分別評議員は以下のとおりです。

寄附行為に定めた評議員定数は、19~24 人で、欠員はありません。

なお、令和 5 年 3 月 31 日に辞任した 1 号評議員 早川誠人氏の後任には、令和 5 年 3 月 24 日開催の理事会で菊武幼稚園の後任の園長として承認された池本 厚氏が令和 5 年 5 月 19 日の評議員会で第 1 号評議員に選任され就任されました。また、令和 5 年 5 月 19 日の理事会で内山哲治氏の後任として推薦された巢 宇燕氏が同日、理事会の後に開催された評議員会で第 1 号評議員として選任され就任されました。

評議員現員数 23 人

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	選 任 区 分	就 任 年 月 日	任 期	備 考
評議員	高 木 弘 恵	学識経験者	平成 20 年 12 月 5 日	令和 8 年 3 月 31 日	常勤
評議員	高 木 清 秀	法 人 職 員	昭和 53 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	常勤
評議員	山 口 淳	法 人 職 員	平成 21 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	常勤
評議員	池 本 厚	法 人 職 員	令和 5 年 5 月 19 日	令和 8 年 3 月 31 日	常勤
評議員	豊 田 久 美 子	法 人 職 員	平成 31 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	常勤
評議員	中 川 信 子	法 人 職 員	平成 26 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	常勤
評議員	巢 宇 燕	法 人 職 員	令和 5 年 5 月 19 日	令和 8 年 3 月 31 日	常勤

職名	氏名	選任区分	就任年月日	任期	備考
評議員	松原伸一	法人職員	平成31年4月1日	令和8年3月31日	常勤
評議員	加藤嘉彦	法人職員	令和2年5月20日	令和8年3月31日	常勤
評議員	浅井明己	学園卒業者	平成9年4月1日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	大石清美	学園卒業者	平成2年4月1日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	渡邊哲郎	学識経験者	平成11年4月1日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	高木重幸	学識経験者	平成4年4月1日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	竹内隆史	学識経験者	平成10年4月1日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	平本晴康	学識経験者	平成11年4月1日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	高木秀典	学識経験者	平成15年12月11日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	原田隆史	学識経験者	平成21年5月22日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	大嶋啓介	学識経験者	平成22年4月1日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	市橋豊	学識経験者	平成22年4月1日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	杉山寿美	学識経験者	平成22年5月21日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	志水咲子	学識経験者	平成28年4月1日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	須崎徳之	学識経験者	平成30年4月1日	令和8年3月31日	非常勤
評議員	種村淳	学識経験者	令和4年4月1日	令和8年3月31日	常勤

## 8. 教職員に関する事項

(令和5年5月1日現在教職員数等)

学校名	教員区分	人数	平均勤続年数	平均年齢	職員区分	人数	平均年齢
名古屋産業大学	本務教員	34人	8年7か月	56歳1か月	本務職員	22人	47歳8か月
	兼務教員	45人	7年10か月	60歳0か月	兼務職員	10人	58歳8か月
名古屋経営短期大学	本務教員	25人	5年8か月	56歳2か月	本務職員	16人	43歳1か月
	兼務教員	33人	6年4か月	60歳8か月	兼務職員	6人	53歳5か月
菊華高等学校 (全日制・通信制)	本務教員	61人	12年8か月	38歳6か月	本務職員	6人	57歳8か月
	兼務教員	54人	4年4か月	51歳0か月	兼務職員	4人	67歳2か月
菊武幼稚園	本務教員	8人	6年6か月	33歳0か月	本務職員	2人	54歳10か月
	兼務教員	4人	4年1か月	45歳11か月	兼務職員	2人	52歳10か月
菊武ビジネス専門学校	本務教員	22人	9年8か月	39歳8か月	本務職員	2人	50歳7か月
	兼務教員	16人	6年4か月	53歳5か月	兼務職員	0人	
専門学校NWF B	本務教員	10人	4年9か月	47歳10か月	本務職員	6人	45歳5か月
	兼務教員	35人	6年0か月	52歳3か月	兼務職員	3人	54歳2か月

※学校名の専門学校NWF Bは、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院を言う。

## 9. その他

各学校（稲葉保育園を含む）の状況については、次頁以降の事業の概要のとおりです。

## II. 事業の概要

### 1. 令和5年度の各学校の入学人数と在籍者数

令和5年度（令和5年4月）の入学人数は、大学が大学院も含めて168名（目標208名対比80.8%）、短大が81名（目標205名対比39.5%）、高校（全日制・通信制）が621名（目標564名対比110.1%）、幼稚園が42名（目標72名対比58.3%）、菊武ビジネス専門学校が284名（目標290名対比97.9%）、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院が181名（目標180名対比100.5%）で学園全体の入学人数は、1,377名（目標1,519名対比90.7%）となりました。

令和5年5月の在籍者数は、大学が750名（目標760名対比98.7%）、短大が213名（目標410名対比51.9%）、高校（全日制・通信制）が1,719名（目標1,785名対比96.3%）、幼稚園が157名（目標175名対比89.7%）、菊武ビジネス専門学校が693名（目標600名対比115.5%）、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院が299名（目標300名対比99.7%）となり、学園全体の在学生総数は前年度より235名多い3,831名（目標4,030名対比95.1%）となり、学園全体としては、目標を100%達成することができませんでした。

### 2. 令和5年度の各部門の事業概要

#### 【学園本部】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症もインフルエンザと同じ第5類感染症に引き下げられ、平常に戻りつつありましたので、菊武夏祭りと同例年の学園研修を計画しました。

4月：「令和5年度方針の発表、財務から見た学園の現状と令和5年度目標値の説明、入学生数を増やした3項の広報戦略、令和5年度新任教職員の紹介」

6月：「部門対抗ソフトバレーボール大会」を大学・短大の体育館で実施。

8月：「菊武夏まつり」を3年ぶりに実施。

9月：報告会、講演会の2部制で実施。

第1部は、「東北ボランティアの活動報告」

菊華高等学校と菊武ビジネス専門学校の生徒が報告

第2部は、「学生、生徒、園児ひとりひとりのメンタルケア、心のケアは十分できていますか？」

医療法人社団 上桜会 ゆうメンタルクリニック

治療アドバイザー 水口高志 氏が講演

1月：理事長 年頭所感2024～新年のご挨拶～、新春和太鼓演奏に続き、将棋棋士・藤井聡太八冠の師匠である杉本昌隆氏を講師にお迎えし、「将棋界から見る若者への接し方」の講演を実施。

3月：CABANA TERACE 名古屋栄店にて

第1部「優秀教職員表彰式」 第2部「懇親会」を昼食を取りながら実施。

## 【名古屋産業大学】

### (1) 大学の主な教育・研究の概要

#### 【学位授与の方針】

「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」を建学の精神とし、本学の学位プログラムの課程を修め、卒業に必要な所定の124単位の単位取得を満たしたうえで、学則第1条に定める「誠実にして、創造性に富み、専門的能力を身につけた、産業社会で活躍できる人材を育成する」ことを目的としています。

その実現のために、様々なビジネスシーンの問題解決に応用できる知識と社会人基礎力などの能力・資質を修得し、それらを活かして産業・経済の発展に寄与できる人材を育成することを教育目標とします。

#### 【教育課程編成の方針】

大学は、次に挙げる考え方で教育課程を編成し、実施します。

- ① 現代ビジネスを担う専門能力と社会人基礎力を養成することを目的とし、学生一人ひとりの顔が見える少人数で学生参加型の演習・実習などを重視した授業編成を行います。
- ② 大学における学びの基礎となる基礎的読解力や文章表現力などを習得させるため、初年次段階において少人数で学ぶ教養ゼミナールなどを設けます。
- ③ 外国語によるコミュニケーション能力や異文化理解、心身両面の健康づくり、情報を読み解く力について学ぶ科目を配置します。
- ④ 各自の専攻分野以外の領域について、知への興味や関心を引き出す教養教育を実施し、専攻分野に関する理解の一助とするとともに、豊かな人間性を育み、物事を深く考えるための知的基盤形成を促します。
- ⑤ 専攻分野に関する知識及び論理的思考方法を習得できるよう、専攻分野のカリキュラムでは、初年次段階から年次進行に合わせて段階的に高度化する専門科目を体系的に配置します。
- ⑥ 各自の専攻分野に関する知識を社会でどのように活かしていくかを考えるキャリア教育、並びにキャリア形成支援を継続的に実施します。
- ⑦ 在学中の学習成果を集大成する仕組みとそれを評価する取組みを、学部・学科において工夫し、実践します。

#### 【入学者選抜の方針】

大学では、産業社会で活躍できる人材の育成を目的として、意欲のある人をできるだけ幅広く募り、多様な入試形態を用意しています。この受け入れ態勢のもと、学位授与の方針（DP）及び教育課程編成の方針（CP）に定める教育を受けるための条件として、以下に掲げる人を求めます。

- ① 大学の教育目的である「誠実にして創造性に富み、専門的能力を身につけた、産業社会で活躍できる人材の育成」に共感し、自ら本学の教育理念の実現に向けて努力できる人
- ② 新たなビジネス創造にチャレンジする情熱と意欲にあふれた人
- ③ グローバルとローカルな視点で社会への理解を深め、ビジネスでの活躍をめざす人

## (2) その他

令和5年度は教育活動及び研究活動を強化し、多くの実績を残しました。社会人基礎力を身に付けるための活動に取り組む学生たちが成果を発表する「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」中部地区大会において本学の学生が最優秀賞を受賞しました。また、文部科学省の「日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）調査研究事業」に本学の環境教育が採択される等、本学の教育・研究活動の取り組みが高く評価されています。

学生募集においては、令和6年4月は学部の入学定員190名に対し192名の入学となり定員数を確保することができました。現代ビジネス学科が継続して定員確保する一方で、経営専門職学科は入学定員40に対し入学者数13名と、開設以来低調な状況が続いています。同学科は令和6年度に初の卒業生を送り出すことから、就職先を確実なものとするよう指導に取り組んでいきます。

### ○主な行事

4月：入学式、新入生オリエンテーション

6～12月：公開講座

8月：ビジネスデザインコンテスト

9月：秋学期学位記授与式、入学式

10月：大学祭

12月：環境フォーラム、四短合同 KIKUTAKE ルミナ

1月：卒業研究発表会

3月：学内合同企業説明会、東北ボランティア隊、学位記授与式

### ○クラブ活動

<野球部> ・愛知大学野球連盟リーグ戦二部継続

<サッカー部> ・東海学生サッカーリーグ一部継続

・プロリーグ入団（J3・ヴァンラーレ八戸／大山晟那、JFL・ラインメール青森FC/高井健太）

<ボウリング部>

・全日本大学・実業団ボウリング王座決定戦（8/19～20日、ビサイボウル）

優勝（3人チームのトーナメント戦）：瀬戸翔、服部寛大、林元輝

・第52回全日本クラブ対抗ボウリング選手権大会（1月19～21日、新狭山グランドボウル）優勝

### ○主な就職先

愛知県警、福井県警、兵庫県警、神奈川県警、防衛省陸上自衛隊、信用組合 愛知商銀、岡三証券(株)、JA、近畿日本鉄道(株)、日赤名古屋第二病院、名古屋徳洲会総合病院、日本郵便(株)、(株)イビデン、カネミ食品(株)、(株)日本ハウスホールディングス、東海マツダ販売(株)、岐阜トヨタ自動車(株)、ブリヂストンリテールジャパン(株)、(株)わかさ生活、(株)青山製作所、豊田合成日乃出(株)、ケンキー(株)、(株)名鉄ホテルマネジメント犬山、リゾートトラスト(株)、(株)スズケン、(社福)郡上市社会福祉協議会、杉本商事(株)、大和リビング(株)、合同会社ユー・エス・ジェイなど

## 【名古屋経営短期大学】

### (1) 短大の主な教育・研究の概要

#### 【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）】

名古屋経営短期大学では、建学の精神である「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」にむけたカリキュラムを履修し、各科において必要な単位修得等の要件を満たし、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与します。

- ① 専攻する学科分野における専門的知識や技能を活用することができる。
- ② 専攻する学科分野の現状を理解し、幅広い教養を求めることができる。
- ③ 目的意識をもって、行動できるとともに、自らの言動に責任が伴うことを自覚できる。
- ④ コミュニケーション能力を活かし、チームの一員として協働することができる。
- ⑤ 学修や実習をとおして、実社会で起こる様々な問題の解決策を考え、プレゼンテーションすることができる。

#### 【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）】

本学では、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識や技能などを修得させるため、総合教育科目と専門教育科目を体系的に編成し、講義、実習、演習を適切に組み合わせます。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定めます。

##### 教育内容

- ① 将来のライフプランを自ら考えるため「ライフプランニング（菊武基礎）」を必修とする。
- ② 総合教育科目では、専攻する学科分野で必要とされる基本的な知識や能力及び教養の習得を目的とし、必修科目をとおして社会人基礎力の充実を図る。
- ③ 専門教育科目では、専攻する学科分野での専門的知識や能力の習得を目的とする。
- ④ 組織や集団での就労を経験するため、インターンシップや実習を行う。
- ⑤ 専門教育科目を中心とする教育内容の総合化のため、卒業研究とプレゼンテーションを行う。

##### 教育方法

- ① 科目の特徴を活かした教育方法で実施する。
- ② 主体的に学ぶ力を養うため、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を適切に実施する。
- ③ インターンシップや実習または学外活動など、実践的な教育方法を実施する。

##### 教育評価

- ① シラバスによって明確化された到達目標と評価法によって評価する。
- ② 学習成果の達成度は、卒業研究をとおして評価する。

#### 【アドミッション・ポリシー（入学受入方針）】

ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として次に掲げる知識、技術、能力、目的意識、意欲を備えた人物を求めます。

- ① 社会問題に対して、知識や情報をもとに筋道を立てて考えることができる。

- ② 高等学校等での教育課程を幅広く修得している。
- ③ 希望の職業について、専門的な知識や技能、幅広い教養を積極的に身につけ、卒業後には社会で活躍する意欲がある。

## (2) その他

令和5年度は地域連携を積極的に実施し、学生が参加することで大きな教育効果を上げました。新たな試みとして、市内の保育園から預かった絵本を修理し再活用する「絵本プロジェクト」や、近隣の「平子の森」を活用したボタニカルアート講座やワークショップの開催、電動車椅子サッカー大会、学生による消防団サポーターの結成など学科の特性を活かした多くの社会活動を行いました。

学生募集においては、令和6年4月の未来キャリア学科の入学人数が65名（入学定員70名）、子ども学科が30名（同50名）、名称変更した介護福祉学科が34名（同28名）と学年全体では定員を下回ったものの、回復の兆しをみせています。また別科を総合ビジネス専修として改組し定員40名の募集活動を行ったところ60名の入学者がいました。令和6年度から別科専用の校舎として5号館を開設し教育活動を展開しています。

## 主な行事

- 4月：入学式、新入生オリエンテーション
- 6～12月：公開講座実施
- 9月：秋学期学位記授与式
- 10月：大学祭
- 12月：四短合同 KIKUTAKE ルミナ
- 3月：学内合同企業説明会、東北ボランティア隊、学位記授与式

## 主な就職先

### 未来キャリア学科

(株)富山村田製作所、中日本フード(株)、大垣西濃信用金庫、海上自衛隊、瀬戸信用金庫、第一生命保険(株)、(株)ノゼキ、(医)浅田レディースクリニック、すずきこころのクリニック、(株)ATグループ、(株)ホームセンターアント、(株)トヨタレンタリース愛知、(株)クスリのアオキ、みたき総合病院

### 子ども学科

豊田市、春日井市、瀬戸市（社福）名古屋キリスト教社会会館

### 健康福祉学科

(社福)愛知育児院、(社福)墨友会、(社福)名北福祉会

## 【菊華高等学校】

令和5年度は、前年度に続き募集定員を上回る366名の入学生が集まった。令和3年度から300名を超える新入生を迎えたということは、少子化の中、中学卒業生人口から見ても過去に例がない躍進である。そして令和6年度の生徒募集についてはさらなる躍進と、レベルアップを図るため入試基準を上げて募集を行い教育の充実を目指して力を注いできた。目指す学校像としては、生徒が自ら考え自ら学び心身共に健康で礼儀正しく生徒一人ひとりが主人公となり菊華高校を誇りに思う生き生きとした輝く学校を目指した。そして建学の精神である「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」を実現するため、校訓の「誠実・創造・健康」を日々の学校生活の中で実践的に指導し、健全な生徒の育成に努めた。

### ■重点取組

#### ○学力向上

すべての教科で授業改革を実行し教員の研修などを通して研鑽に励み、教育力の向上に努め学習成果を上げた。生徒に対しては「わかる・できる喜び・学ぶ楽しさ」を実践し生徒主体の授業づくりに取り組み主体的に学習に取り組む力を要請した。また、1年生は全員1人1台のタブレットを配布し効率的な授業を行いICT教育の強化を図った。教職員も授業については1分でも大切な時間と意識をして疎かにすることなく全力で授業にあたった。学校の主たる目的は第1に授業であることを念頭に置き日々の業務に取り組んだ。

#### ○生徒募集

一昨年度前（令和3年度）の入学生数は304名、昨年度は376名、令和5年度は366名と3年連続で300名を超えて在籍人数は900名を超えることになった。しかし歯止めの利かない少子化の中で、この在籍者数を維持していくために、あらゆることで工夫をして募集に繋げていかなければならない。今後の募集に関しては一定の入学生（300名超）を確保することを目標に教職員全員が渉外部員と自覚し募集にあたった。

#### ○進路

卒業する生徒全員が進路決定せることを目標に進路指導をしたが数名の浪人が出た。しかしながら大学進学実績向上のための補習体制や個別指導などの実施により国公立大学の合格者も少ないながらも輩出した。また、インターンシップの強化により就職希望者は100%就職を決定することができた。姉妹校への進学については学年と進路指導部とが密接な連携を取り、1人でも多くの生徒を推薦した。令和5年度を進路指導は、生徒と保護者の希望と学校とのミスマッチをなくし生徒と保護者が満足する進路結果が得られた。

#### ○生徒指導

生徒一人ひとりの存在をかけがえのないものとして大切にするとともに、教員と生徒が相互に人として尊重し合う人間関係を築き、生徒の良いところを褒めて自信とやる気を持たせ積極的に学校生活を送れるように支援した。厳しく指導する場合も教育的配慮のもと根底には温かい心遣いを必要とし指導された理由を理解納得させることに努めた。挨拶と礼儀を重んじた明るい生徒の育成を目指し、命の大切さ尊さを重んじる指導を通しての生涯教育を行った。

## ■主な学校行事

- 4月 入学式
- 5月 PTA 総会、後援会総会、保護者対象進路説明会（オンデマンドで開催）
- 7月 2年姉妹校訪問
- 8月 中学生対象「夏の学校体験会」
- 10月 文化祭  
中学生対象「秋の学校体験会」
- 11月 2年修学旅行（沖縄）1・3年遠足  
体育祭（キクタケスポーツヒルズ）  
3年芸術鑑賞（劇団四季）  
中学生対象学校説明会
- 12月 保護者会、中学生対象学校説明会
- 1月 3年スポーツクラス スキー合宿（車山高原）  
3年アクトクラス卒業公演（尾張旭市文化会館）
- 2月 3年生を送る会、1・2年生アクトクラス生徒オーディション  
3年保育・福祉コース卒業研修（蒲郡）  
3年情報ビジネス科・フードコース・総合コース テーブルマナー  
卒業式

## ■課外活動

- (ダンス部) 第35回 全日本高校大学ダンスフェスティバル（神戸）  
第15回 NFCC 全国ハイスクールダンスコンペティション 優勝
- (サッカー部) 第102回 全国高校サッカー選手権大会 県大会出場
- (ソフトテニス部女子) 平成5年度 総体名古屋北地区大会 団体優勝 個人 県大会出場  
平成5年度 国民体育大会名古屋北地区大会 団体優勝 個人 県大会出場  
平成5年度 名古屋スポーツ祭 団体優勝  
平成5年度 新人名古屋北地区大会 団体優勝 個人 県大会出場
- (野球部) 第105回 全国高校野球選手権愛知大会 4回戦進出
- (箏曲部) 第38回 愛知県高等学校文化連盟日本音楽部門（邦楽の部）最優秀賞 全国大会出場
- (ボクシング部) 令和5年度 高校総体 個人 県大会優勝 全国大会出場  
令和5年度 国体全国大会出場 個人  
令和5年度 愛知県高校新人体育大会 個人 全国大会出場
- (卓球部) 令和5年度 全国高校総体 男子 個人 県大会出場  
令和5年度 国民体育大会 男子 個人 県大会優勝  
令和5年度 名古屋市市民スポーツ祭 男子 団体 優勝
- (新体操) 第77回 高校総体 団体 個人 県大会出場  
令和5年度 新人体育大会 団体 個人 県大会出場 県大会4位
- (演劇部) 第76回 中部日本高等学校演劇大会 県大会出場

## 【菊武ビジネス専門学校】

入学者 200 名を確保するため、「就職・進学 100%保証」というテーマのもと、プログラミング&アニメーションコースの内容充実させ、他校との差別化に取り組みました。また、「学び直し」と「検定取得」から、わかる・できる喜びを感じさせ、自信を着けさせるとともに、楽しい学校生活を送らせ、感じのよい生徒を育てる取り組みをしました。

### 〈重点的な取り組み〉

1. 就職・進学 100%保証を掲げ、それを推進するために企業訪問をし、求人確保や新規企業の求人確保に努めました。3 年生の 5 月には企業 6 社に来ていただき、これから始まる就職活動に向けた心構えをお話いただきました。全学年(希望者)を対象として合同企業説明会に参加を促すとともに、1・2 年生(希望者)を対象に夏休みに職場体験を実施し、常に進路を意識させる取り組みを行いました。進学も学園内上級学校訪問や進路説明会をきっかけに、学園内進学に繋げることができました。
2. 中学校に出向いての進路説明会参加を積極的に依頼し、60 校を超える中学校で生徒・保護者へ直接、専修学校や本校の魅力を発信できたことから、入学者数を確保することができました。
3. パソコン系の検定取得率を上げるために、校内でのパソコン入力スピードコンテスト KIKUTAKE CUP(3 年目)を継続実施。従来の検定試験に加えて昨年から始めたプログラミング能力検定協会主催プログラミング能力検定も継続実施して、授業の成果を発揮できる機会の確保に努めました。また、パソコン実習室を 1 部屋増やし、画像加工や動画編集の授業を充実させました。
4. 学校周辺の清掃ボランティアや地域の祭のボランティア、おてらおやつクラブへの寄附等を継続するとともに、生徒の書いたイラストを、体験入学等で配布する不織布バッグのデザインにしたり、警察と連携した地域の交通安全啓発ポスターを作成したりすることから、生徒が活躍できる場を多く持つよう取り組みました。
5. 1 学期と 2 学期に全生徒対象の教育相談(3 日程度、午後)期間を設け、学習や生活の悩みを相談でき、学校生活を円滑に送れるよう取り組みました。
6. 高等課程の入試にインターネット出願を導入し、受験生、保護者、中学校の先生の利便性を向上しました。

### 〈主な学校行事〉

- 4 月：(高・専)入学式、(専)オリエンテーション
- 5 月：(1 年)オリエンテーション、(2・3 年)校外学習(ナガシマ)、教育相談
- 7 月：保護者懇談会、映画鑑賞会  
中学生対象パソコン入力スピードコンテスト、専門課程集中講座
- 8 月：全国パソコン技能競技大会参加
- 9 月：文化祭(校外)
- 10 月：文化祭(校内)、体育祭
- 12 月：1 年生校外学習(東山動植物園)、3 年生テーブルマナー  
(専)大阪旅行、2 年生上級学校訪問、芸術鑑賞会(吉本芸人)
- 2 月：3 年生を送る会、視聴覚講座(ゴスペル)、
- 3 月：(高・専)卒業式、2 年生修学旅行

## 【専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院】

令和5年度も「定員確保」をテーマに以下の4項目に取り組みました。

- 1) 学生収容数値目標 180名 (B科100名 F科50名 TB科30名)
- 2) 学校モットーの明確な打ち出し 「誰かの笑顔が私の幸せ」
- 3) 他校との差別化 B科F科「歴史」、TB科「美を幅広く学べるカリキュラム」
- 4) 地域連携

### 主な学校行事・教育活動

#### 4月 入学式

オリエンテーション (1年生・2年生)

6月模擬結婚式場下見 (クレールベイサイド/ピアンカーラ/ルアンジェ教会)

ブライダル科業界研究 (ロルド) 造園実習 (尾張旭実習場) 健康診断

#### 5月 ブライダル業界研究・ブライダル演習

(アニヴェルセル白壁/オレンジスタジオ/アプローズスクエア/名古屋東急ホテル/アールベルアンジェ/ストリングスホテル名古屋)

造形実習 (ヤマザキマザック美術館) ガーデンデザイン (のんほいパーク)

グリーンデザイン (星ヶ丘テラス) 後援会総会

#### 6月 園芸装飾 (東山動植物園)

ブライダル業界研究(maruichi/ザ・コンダーハウス/クレールベイサイド)

ブライダルヘアメイク (大須観音) ヘアスタイリング (山田天満宮)

パーティプロデュース (クレールベイサイド) ブライダルデザイン (シモジマ)

造園実習 (愛知県植木センター) 模擬結婚式 (クレールベイサイド)

スポーツ大会 (東スポーツセンター)

#### 7月 園芸装飾・ガーデンデザイン (京都府立植物園)

ヘアスタイリング (山田天満宮) グリーンデザイン (星ヶ丘テラス)

園芸実習 (大須松原、名港フラワーブリッジ) フラワーセラピー (ヤマザキマザック美術館)

フラワー装飾3級 (KAWABUN/日比谷花壇/プランツコレクション)

ドレスコーディネート (吹上ホール・ゼクシィフェスタ) 模擬結婚式 (アールベルアンジェ)

#### 8月 模擬結婚式 (アプローズスクエア名古屋)

#### 9月 フローリスト実習II (アスカ商会ショールーム)

グリーンデザイン・ガーデンデザイン (星ヶ丘テラス) ブライダル総合講座 (犬山武番館)

#### 10月 ブライダル総合講座 (Qazari、ジュエリーかまた、護国神社)

ファッションメイキング (大塚屋) ショーメイク (東山動物園)

ランドスケープデザイン・ガーデンデザイン (個人宅庭園)

F科 フラワーショップ「Carta」オープン ステップアップセミナー

NWFB文化祭

- 1 1月 ガーデニング・ガーデンデザイン（名古屋市役所庁舎） サービス実習（ピアンカーラ）  
 ブライダル総合講座（ゆう工房栄スカイル店） 園芸実習（名古屋駅周辺）  
 グリーンデザイン・ガーデンデザイン（文化のみち） 全国技能五輪大会（愛知県国際展示場）  
 グリーンデザイン・ガーデンデザイン（古川美術館） 園芸実習（徳川園）  
 ランドスケープデザイン・ガーデンデザイン（那古野周辺）  
 ガーデニング・ガーデンデザイン（三千院 他） ステップアップセミナー 特待生選考試験
- 1 2月 ブライダル総合講座（東別院） 造形基礎（名古屋駅周辺） サービス実習（アールベルアンジェ）  
 TB科テーブルマナー講習（徳川園） ステップアップセミナー B科リゾナーレ研修（八ヶ岳）  
 卒業研修旅行（沖縄） 本物の結婚式（ピアンカーラ）
- 1月 園芸実習（なばなの里） フラワー総合演習（久屋大通り周辺）  
 グリーンデザイン・ガーデンデザイン（名古屋市美術館） ステップアップセミナー  
 本物の結婚式（ピアンカーラ）
- 2月 フラワーデザイン・グリーンデザイン（古川美術館） ヘルシースイーツ（北生涯学習センター）  
 ヨガ（LAVA） 模擬結婚式（ピアンカーラ） ブライダル総合講座（アルカンシェル名駅）  
 フラワーウェディング（ゆう工房） 卒業作品展（栄ナディアパーク） 2年生ディズニー研修
- 3月 卒業式

## 【菊武幼稚園】

コロナが五類に分類されましたが、インフルエンザ等の感染予防に注意しながら、行事は内容や進め方を工夫して、保護者の方々にも観覧、参加方法も考えて、「徳育・体育・知育」の3つを軸に「仲良く遊ぶ子、心も体も強い子、よく見よく聞く考える子」ひいては「自信を持って小学校に進学できる子」を育てるために取り組みました。

### 主な学校行事

- 4月：入園式、新入園児特別保育、始業式、4月生まれ誕生会、次年度年少・満3歳児募集の案内
- 5月：5/15 春の親子遠足(落合公園)、こどもの日の集い、歯科検診、5月生まれ誕生会、内科検診
- 6月：避難訓練、交通安全指導、6月生まれ誕生会、6/3から満3歳児教室の開始、満3歳児に対してお  
 試し保育の開始（6月2階開催）
- 7月：七夕参観、お楽しみ会、7月生まれ誕生会、お試し保育（2回）、年少プレ保育（2回）
- 8月：夏期特別保育、8月生まれ誕生会、お試し保育（2回）
- 9月：避難訓練、保育参観、9月生まれ誕生会
- 10月：運動会、秋の親子遠足(朝宮公園)、春日井まつり、10月生まれ誕生会
- 11月：交通安全指導、幼年消防クラブ、11月生まれ誕生会
- 12月：生活発表会、12月生まれ誕生会、クリスマス会
- 1月：新年子ども会、避難訓練、1月生まれ誕生会、親子ファミリーコンサート
- 2月：作品展、2月生まれ誕生会、年長卒園遠足
- 3月：ひなまつりの集い、3月生まれ誕生会、園児お別れ会、卒園式、

## 【稲葉保育園】

「ささえあい、愛あふれ、笑顔かがやく保育園」を全体の目標から、1歳児「のびのび、スクスク、おおきなあれ」、2歳児「楽しいがいっぱいの1年に」、3歳児「大好きなみんなと一緒に、元気モリモリの生活」、4歳児「友達と一緒に面白いこと、楽しいことを見つけよう」、5歳児「できる！できた！喜びの花を咲かせよう」。各年齢の目標に向かって様々な活動に取り組みました。

保育士の資質向上のために、公認臨床心理士による「気になる子へのアプローチの仕方」、「視覚支援の方法」、「ヘキサスロン研修：子どもの遊びと体力向上」「熱中症対策アドバイザー研修」「エピペンの使い方」「スチームコンベクションを使った調理実習」などの研修に参加した。

### ◎主な行事

- 4月：入園式、内科健診、誕生日会、お花で遊ぼう、身体計測、防犯訓練、災害訓練、
- 5月：こどもの日を祝う会、誕生日会、身体計測、防犯訓練、災害訓練、けん玉で遊ぼう（年長児）、  
田植え、保育参観（1・2歳児）、お花で遊ぼう、音遊び、名古屋経営短期大学子ども学科との交流  
歯科健診、保育園見学会
- 6月：さつま芋の苗付け（年長児）、けん玉で遊ぼう（年長児）、保育参観（3・4・5歳児）、交通安全教室  
お花で遊ぼう、誕生日会、眼科健診、身体計測、防犯訓練、災害訓練、保育園見学会  
名古屋経営短期大学子ども学科との交流、全員保育士研修
- 7月：プール開き、七夕会、お花で遊ぼう、誕生日会、身体計測、防犯訓練、災害訓練、保育園見学会  
サンヴェール尾張旭訪問、ヘキサスロン研修
- 8月：誕生日会、身体計測、防犯訓練、災害訓練、保育園見学会、熱中症対策アドバイザー研修
- 9月：お花で遊ぼう、けん玉で遊ぼう（年長児）、身体計測、防犯訓練、災害訓練、誕生日会、  
臨床心理士訪問指導、おりこーだー演奏会、保育園見学会
- 10月：内科健診、稲刈り（年長児）、運動会（幼児クラス）、運動参観（未満児）お花で遊ぼう  
浦野先生と運動遊び、振り込め詐欺撲滅キャンペーン参加（年長児）、園外保育、誕生日会  
保育園見学会、身体計測、防犯訓練、災害訓練
- 11月：修園遠足（年長児）、けん玉で遊ぼう、芋ほり、お花で遊ぼう、歯磨き指導、園外保育（城山公園）  
誕生日会、個人懇談会（3・4・5歳児）、浦野先生と運動遊び、菊華高校との交流、音遊び  
保育園見学会、身体計測、防犯訓練、災害訓練
- 12月：花もち作り、お花で遊ぼう、けん玉で遊ぼう、しめ縄作り（年長児）クリスマス会、誕生日会  
サンヴェール尾張旭訪問、名古屋経営短期大学子ども学科との交流、卒園写真撮影会、身体計測、  
防犯訓練、災害訓練
- 1月：洞光院での座禅体験（5歳児）、音遊び、お花で遊ぼう、誕生日会、身体計測、防犯訓練  
避難訓練、保育園見学会
- 2月：保育参観（1・2・3・4・5歳児）、お花で遊ぼう、けん玉で遊ぼう、給食センター訪問（年長児）  
おこしもの作り、小さなうち作り、誕生日会、身体計測、防犯訓練、災害訓練、保育園見学会
- 3月：ひな祭り会、お弁当の日、お花で遊ぼう、けん玉で遊ぼう（けん玉修了式）、保育園見学会  
名古屋経営短期大学子ども学科ゼミ発表会見学（5歳児）、身体計測、防犯訓練、避難訓練、  
修了式、卒園式

### 3 各学校の事業計画の進捗・達成状況

#### 名古屋産業大学

令和3年度に中期事業計画の最大目標であった経営専門職学科の開設をしたものの、経営専門職学科の特色を伝えきれず、経営専門職学科の入学者数は計画通りにはなっていませんが、既設学科が頑張りと、大学院を含む収容定員充足率は事業計画目標を超える93.8%で、財務も黒字を維持していますので、今後は、中期事業計画の遅れ、特に施設・設備面での遅れを順次取り戻していくこととなります。

#### 名古屋経営短期大学

前年度の入学者が中期計画目標の40%程度に終わったため、令和5年度の収容定員充足率が50%を割り込み、私立大学経常費補助金が不交付になる懸念が出てきたため、各学科の入学定員の見直しを行いました。財務も更に赤字が増え計画の縮小を余儀なくされる結果となりました。

#### 菊華高等学校

生徒募集に関しては令和5年度も入学者が367名と目標を超える入学者数となり、卒業生も215人と少なかったため在籍者数は前年度より120人増え、教育活動収入が41百万増えましたが、教育活動支出を12百万の減少としましたので、教育活動収支差額は前年度比53百万円増となり、事業計画を予定通り進めることが出来ました。

#### 菊武ビジネス専門学校

3年連続して計画目標を超える入学者数を達成した結果、収入が更に増えましたが、令和5年度は、支出の増加が収入の増加を上回りましたので、教育活動収支差額は前年度より10百万円程少ない96百万円程の黒字に止まりました。

#### 専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院

主力のブライダルビジネス学科の入学者募集は、新型コロナウイルスの感染拡大によるブライダル業界の不振の影響を受けて苦戦を強いられていましたが、SNSを活用した広報活動とWebによるオンラインオープンキャンパスの実施など必死の広報活動の結果、計画目標を超える181人の入学者を確保し、在籍者数が増えましたので、基本金組入前当年度収支差額は、前年度より15百万円ほど多い70百万円程の黒字を出すことができました。

#### 菊武幼稚園

園児を預かる時間が長い保育園に押され、中期計画目標を大きく下回る入園児数が続いています。預かり保育の拡充に努めましたが、前年度を下回る入園児数しか確保することができず、損益分岐点入園児数に届かない在園児数になってしまいましたので、基本金組入前当年度収支差額は、前年度より29百万円程少なくなり、10百万円程の赤字になってしまいました。今後満3歳児保育を含めた預かり保育に注力し在園児数回復に努力していくこととなります。

#### 4 令和5年度の各学校の主な契約

##### 【本 部】

名古屋産業大学通信教育課程設置に係るコンサルテーション業務・調査契約  
自動販売機設置契約書

##### 【名古屋産業大学】

教育研究用ネットワークシステム・ハードウェア保守契約  
ガスヒーポン保守契約  
汚水処理施設の維持管理に関する契約  
GAKUENN RE/UNIVERSAL PASSPORT RX 賃貸借契約書  
無線 LAN 機器及びネットワーク機器設定・保守サービス契約書  
面接指導実施教室 1 教室～5 教室の校舎施設使用契約  
病院実習（診療情報管理実務）委託契約  
給食業務委託契約の変更契約  
日本型教育及び予測困難な時代の学びを保障する学習手法の共有と海外展開に関する調査研究  
下宿紹介業務に関する業務提携契約  
2号館屋上防水工事請負契約

##### 【名古屋経営短期大学】

ガスヒーポン保守契約  
汚水処理施設の維持管理に関する契約  
下宿紹介業務に関する業務提携契約  
オープンキャンパス交通費補助に関する覚書

##### 【菊華高等学校】

保育・福祉コースの教育課程における週12コマに対する講師派遣契約  
iPad 機器補償契約  
キッキング業務、教育用 iPad 保守運用に関する業務委託契約  
ICT 支援員派遣業務委託契約  
i-FILTER 他ライセンス購入契約  
スポーツロッカー・椅子・机売買契約  
本館3階旧情報処理室 空調設備工事  
学校案内パンフレット請負契約

校用車（カラーアクシオ）リース契約  
放送卓更新工事請負契約  
非常放送設備更新工事請負契約  
学校指定制服供給基本契約及び販売契約  
中庭人工芝化工事請負契約  
中庭渡り廊下（デッキ風）設置工事請負契約  
校内無線 LAN 整備工事請負契約  
電気通信サービスの提供料金に関する契約

#### 【菊 武 幼 稚 園】

通園バスリース契約

#### 【菊 武 ビ ジ ネ ス 専 門 学 校】

1号館備品倉庫及び2号館の空調機更新工事請負契約  
2023年度ファイアウォールリース契約  
3号館 高圧ケーブル及び機器更新工事請負契約  
パソコン実習室用机・椅子売買契約  
令和5年度プライマリ DC サーバリース契約  
3号館3階新教室構築作業及びLAN配線工事請負契約  
3号館新教室PCリース契約  
専門課程ノートPCリース契約  
1号館屋上防水工事  
ネット出願システム導入契約  
専門課程システム運用保守契約  
6M教室システム運用保守契約  
校用車（アクア）リース契約  
4号館大型メモ台付椅子売買契約  
1号館4F教室天井改修工事請負契約  
学校指定制服販売契約

#### 【専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院】

S-Wing 学内統合情報システムソフトウェア開発契約  
スタンド式スチーム複合機 物品売買契約  
校用車（パッソ）再リース契約

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 決算の概要

##### (1) 資金収支計算書関係

##### ① 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金収入	1,775,512	2,024,756	1,947,609	1,889,174	1,962,209
手数料収入	32,028	28,745	30,512	33,501	36,622
寄付金収入	3,815	5,040	15,340	3,490	3,498
補助金収入	591,163	649,185	779,023	837,694	888,896
資産売却収入	2	299,996	212,398	4	0
付随事業・収益事業収入	11,163	11,661	42,940	23,239	12,674
受取利息・配当金収入	9,279	9,372	9,848	11,918	12,971
雑収入	91,353	41,018	45,042	66,253	43,140
借入金等収入	0	0	0	250,000	0
前受金収入	547,865	472,144	443,506	467,269	515,831
その他の収入	87,476	173,351	141,528	114,114	137,090
資金収入調整勘定	△537,931	△609,855	△552,632	△524,443	△513,672
前年度繰越支払資金	1,225,348	1,359,919	1,623,230	1,819,793	2,011,068
収入の部合計	3,837,073	4,465,332	4,738,344	4,992,006	5,110,327

支出の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費支出	1,664,295	1,595,813	1,642,096	1,655,546	1,683,004
教育研究費支出	452,204	570,921	511,021	526,731	545,597
管理経費支出	211,846	199,106	216,809	206,360	235,661
借入金等利息支出	660	330	0	749	408
借入金等返済支出	34,439	30,000	0	50,000	50,000
施設関係支出	93,968	37,509	105,243	316,830	186,877
設備関係支出	52,263	23,483	76,903	50,003	98,790
資産運用支出	30,000	309,906	352,939	200,040	200,302
その他の支出	73,878	146,690	82,827	79,828	137,923
資金支出調整勘定	△136,499	△71,746	△69,287	△105,149	△113,342
翌年度繰越支払資金	1,359,919	1,623,230	1,819,793	2,011,068	2,085,107
支出の部合計	3,837,073	4,465,332	4,738,344	4,992,006	5,110,327

② 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動資金収入計	2,503,280	2,753,019	2,845,839	2,850,595	2,943,688
教育活動資金支出計	2,328,444	2,365,030	2,368,557	2,387,535	2,464,130
差引	174,836	387,989	477,282	463,060	479,558
調整勘定等	136,832	△84,229	△59,621	67,028	47,199
教育活動資金収支差額	311,668	303,760	417,661	530,088	526,757
施設整備等活動資金 収入計	1,718	7,264	67,475	19,649	63,351
施設整備等活動資金 支出計	146,231	70,992	232,145	566,832	485,667
差引	△144,513	△63,728	△164,670	△547,183	△422,315
調整勘定等	19,514	△27,293	7,123	△2,400	37,391
施設整備等活動資金 収支差額	△124,999	△91,021	△157,547	△549,583	△384,924
小計（教育活動資金収支差額＋ 施設整備等活動資金収支差額）	△78,081	212,739	260,114	△19,495	141,833
その他の活動資金収入計	16,763	388,006	250,033	278,764	14,804
その他の活動資金支出計	68,861	337,434	313,584	67,994	82,598
差引	△52,098	50,572	△63,551	210,770	△67,794
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△52,098	50,572	△63,551	210,770	△67,794
支払資金の増減額（小計＋その 他の活動資金収支差額）	134,571	263,311	196,563	191,275	74,039
前年度繰越支払資金	1,225,348	1,359,919	1,623,230	1,819,793	2,011,068
翌年度繰越支払資金	1,359,919	1,623,230	1,819,793	2,011,068	2,085,107

③ 活動区分資金収支計算書教育活動資金収支差額比率の経年比較

比 率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動資金収支差額	12.5%	11.0%	14.7%	18.6%	17.9%

※比率の意味 教育活動資金収支差額比率は、教育活動収支差額の教育活動資金収入に占める割合を示し、学校法人の本業である「教育活動」でキャッシュフローが生み出せているかを測る比率です。

## (2) 事業活動収支計算書

## ① 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動 の 部	収入					
	学生生徒等納付金	1,775,512	2,024,756	1,947,609	1,889,175	1,962,209
	手数料	32,066	28,787	30,548	33,535	36,717
	寄付金	4,468	5,605	17,417	4,736	3,670
	経常費等補助金	589,447	641,921	764,548	835,045	885,546
	付随事業収入	11,163	11,661	42,940	23,239	12,674
	雑収入	91,530	40,932	44,937	66,146	43,424
	教育活動収入計	2,504,186	2,753,662	2,847,999	2,851,876	2,944,240
	支出					
	人件費	1,664,911	1,591,555	1,631,315	1,641,299	1,684,067
	教育研究経費	720,172	844,388	782,662	793,970	815,057
	管理経費	237,667	224,302	241,130	230,074	260,263
	徴収不能額等	63	353	549	1,175	1,050
教育活動支出計	2,622,813	2,660,598	2,655,656	2,666,518	2,760,437	
教育活動収支差額	△118,627	93,064	192,343	185,358	183,803	
教育活動 外 の 部	収入					
	受取利息・配当金	9,279	9,372	9,848	11,918	12,971
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	9,279	9,372	9,848	11,918	12,971
	支出					
	借入金等利息	660	330	0	749	408
その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
教育活動外支出計	660	330	0	749	408	
教育活動外収支差額	8,619	9,042	9,848	11,169	12,563	
経常収支差額		△110,008	102,106	202,191	196,527	196,366
特別 の 部	収入					
	資産売却差額	2	0	0	4	0
	その他の特別収入	3,521	8,584	18,725	7,216	5,141
	特別収入計	3,523	8,584	18,725	7,219	5,141
	支出					
	資産処分差額	1,663	7,318	13,495	1,934	2,542
その他の特別支出	0	810	1,370	1,103	4,940	
特別支出計	1,663	8,128	14,865	3,037	7,482	
特別収支差額	1,860	456	3,860	4,182	△2,341	
基本金組入前当年度収支差額		△108,148	102,562	206,051	200,709	194,025
基本金組入額合計		△65,917	△22,061	△32,871	△35,301	△32,658
当年度収支差額		△174,065	80,501	173,180	165,408	161,367
前年度繰越収支差額		△5,113,949	△5,288,01	△5,207,513	△5,034,333	△4,868,925
基本金取崩額		0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額		△5,288,014	△5,207,513	△5,034,333	△4,868,925	△4,707,558

(参考)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業活動収入計	2,516,989	2,771,618	2,876,572	2,871,013	2,962,352
事業活動支出計	2,625,137	2,669,056	2,670,521	2,670,304	2,768,327

② 事業活動収支計算書財務比率（経営状況）の経年比較

比 率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費率	66.1%	57.6%	57.1%	57.3%	56.9%
人件費依存率	93.8%	78.6%	83.8%	86.9%	85.8%
教育研究経費（構成）比率	28.7%	30.6%	27.4%	27.7%	27.6%
管理経費率	9.5%	8.1%	8.4%	8.0%	8.8%
学生生徒等納付金比率	70.6%	73.3%	68.1%	66.0%	66.4%
事業活動収支差額比率	△4.2%	3.7%	7.2%	7.0%	6.5%

※比率の意味

人件費比率……………人件費の経常収入に占める割合。人件費は学校法人における最大の支出要素であり、この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化につながる要因となる。

教職員 1 人当り人件費や学生生徒等に対する教職員数等の教育研究条件等にも配慮しながら、各学校の実態に適した水準を維持する必要がある。

人件費依存率……………人件費の学生生徒等納付金に占める割合。人件費は学生生徒等納付金で賄える範囲内に収まっているのが理想であるが、高等学校においては学費軽減の観点から相当規模の補助金が交付されており、相対的に学生生徒等納付金が低い水準に抑えられていることから、分母に補助金を加えて「修正人件費依存率」を求めて評価することも有用。

教育研究経費（構成）比率…教育研究経費の経常収入に占める割合。教育研究経費は、教育研究活動の維持・充実のため不可欠なものであり、この比率も収支均衡を失しない範囲内で高い方がよい。

管理経費比率……………経常収入に対する管理経費の占める割合。管理経費は教育研究活動以外の目的で支出される経費であり、学校法人の運営のため、ある程度の支出は止むを得ないものの、比率としては低い方が望ましい。

学生生徒等納付金比率……学生生徒等納付金の経常収入に占める割合。学生生徒等納付金は、学生生徒等の増減並びに納付金の水準の高低の影響を受けるが、学校法人の事業活動収入の中で最大の割合を占める学生生徒等納付金は、補助金や寄付金に比べ外部要因に影響されることの少ない重要な自己財源であるので、この比率は安定的に推移することが望ましい。

経常収支差額比率……………事業活動収支計算書においては、収入支出を教育活動、教育活動外、特別活動の3つに区分して、それぞれの区分における収支バランスを把握できる構造になっているが、この比率はそのうち臨時的な要素を除いた経常的な活動に関する部分の収支バランスを表す比率。

### (3) 貸借対照表

#### ① 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資 産	固定資産	12,566,700	12,302,587	12,187,538	12,446,061	12,587,160
	有形固定資産	10,544,644	10,300,687	10,185,529	10,264,090	10,213,894
	特定資産	2,000,000	1,980,000	1,979,940	2,160,040	2,300,302
	その他の固定資産	22,056	21,900	22,069	21,931	72,964
	流動資産	1,477,590	1,707,796	2,003,691	2,193,876	2,233,924
資産の部合計		14,044,290	14,010,383	14,191,229	14,639,937	14,821,084
負 債	固定負債	416,382	390,414	386,756	520,110	508,563
	流動負債	818,562	708,061	686,514	801,219	799,827
負債の部合計		1,234,944	1,098,475	1,073,270	1,321,329	1,308,390
基本金		18,097,360	18,119,421	18,152,293	18,187,594	18,220,252
繰越収支差額		△5,288,014	△5,207,513	△5,034,333	△4,868,986	△4,707,559
純資産の部合計		12,809,346	12,911,908	13,117,960	13,318,608	13,512,694
負債及び純資産の部合計		14,044,290	14,010,383	14,191,230	14,639,937	14,821,084

#### ② 貸借対照表財務比率（財務状況）の経年比較

比 率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
運用資産余裕比率	121.7%	132.9%	143.7%	147.9%	152.2%
流動比率	180.5%	241.2%	291.9%	273.8%	279.3%
負債比率	9.6%	8.5%	8.2%	9.9%	9.7%
固定長期適合率	95.0%	92.5%	90.2%	89.9%	89.8%
前受金保有率	248.2%	343.8%	410.3%	430.7%	404.2%
基本金比率	99.5%	99.8%	99.8%	98.6%	98.8%

比率の意味

運用資産余裕比率……運用資産から外部負債を差し引いた金額が経常支出の何倍かを示す比率で、学校法人の1年間の経常的な支出規模に対してどの程度の運用資産が蓄積されているかを表す指標。

流動比率……流動負債に対する流動資産の割合を示す比率で、学校法人の資金流動性即ち短期的な支払い能力を表す指標。一般に金融機関等では200%以上であれば優良と見做す。

負債比率……他人資金と自己資金との割合で、他人資金である総負債が自己資金である純資産を上回っていないかを測る比率。100%以下で低い方が望ましい。

固定長期適合率……固定資産を取得する場合に、長期間活用できる安定した資金として自己資金の他短期的に返済を迫られない長期借入金でこれを賄うべきであるという原則にどれだけ適合しているかを表す指標。

前受金保有率……………前受金と現金預金の割合。当年度に収受している翌年度分の授業料や入学金等が、翌年度繰越支払資金たる現金預金の形で当該年度末に適切に保有されているかを測る比率。

基本金比率……………基本金組入対象資産額である要組入額に対する組入済基本金の割合を表す比率。100%に近いほど未組入額が少ないことを示す。未組入額があることは即ち借入金又は未払金をもって基本金組入対象資産を取得していることを意味するため、100%に近いことが望ましい。

#### (4) その他

##### ① 有価証券の状況

有価証券の時価情報

種 類	勘定科目 (有価証券の種類)	当年度 (令和6年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を 超えるもの	減価償却引当特定資産	100,000,000 円	100,160,000 円	160,000 円
	学園拡充引当特定資産	100,000,000 円	101,540,000 円	1,540,000 円
(うち満期保有目的の債券)		(200,000,000 円)	(201,700,000 円)	( 1,700,000 円)
時価が貸借対照表計上額を 超えないもの	減価償却引当特定資産	510,000,000 円	507,186,000 円	△2,814,000 円
	学園拡充引当特定資産	300,000,000 円	297,074,000 円	△2,926,000 円
	有価証券	100,000,000 円	96,580,000 円	△3,420,000 円
(うち満期保有目的の債券)		(910,000,000 円)	(900,850,000 円)	(△9,160,000 円)
合計	減価償却引当特定資産	610,000,000 円	607,346,000 円	△2,654,000 円
	学園拡充引当特定資産	400,000,000 円	396,614,000 円	△1,386,000 円
	有価証券	100,000,000 円	96,580,000 円	△3,420,000 円
(うち満期保有目的の債券)		(1,110,000,000 円)	(1,102,540,000 円)	(△7,460,000 円)

##### ② 借入金の状況

当学園の借入金は下表のとおりです。

借入金は、菊武ビジネス専門学校1号館東側の土地・建物を購入し、建物を教室に改修して使用するため総額4億5千万円の資金が必要となり、令和4年度に2億5千万円を期間5年、利息年0.25%（固定金利）で借り入れをしました。借入年度から毎年度5千万円を返済していますので、残りは1.5億円となっています。

(借入金明細表)

(単位：千円)

借 入 先	R4 年度末残高	R5 年度末残高	増 減	金 利	摘 要
市中金融機関 (名古屋銀行)	200,000	150,000	△50,000	年 0.25%	土地・建物取得資金
合 計	200,000	150,000	△50,000		

③ 学校債の状況

当学園は、学校債を発行いたしておりません。

④ 寄付金の状況と経年比較

当学園に対する寄付金の状況は、以下のとおりです。

(単位：千円)

種 類	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特別寄附	0	0	11,750	0	200
一般寄付	3,815	5,040	3,590	3,490	3,298
現物寄付（施設設備以外）	653	565	2077	1,246	173
現物寄付（施設設備）	1,767	1,199	4,095	4,459	1,790

⑤ 補助金の状況と経年比較

当学園に対する補助金の状況は、以下のとおりです。

(単位：千円)

種 類	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
国庫補助金（一般）	91,528	121,600	194,680	184,934	162,982
国庫補助金（施設設備）	0	5,584	8,983	933	0
地方公共団体補助金（一般）	497,919	520,321	569,868	650,111	722,563
地方公共団体補助金（施設設備）	1,716	1,680	5,492	1,716	3,351
合 計	591,168	649,185	779,028	837,744	888,896

⑥ 収益事業の状況

2011年(平成23年)から尾張旭市立稲葉保育園の管理運営事業を収益事業として行っています。1期目は3年間、2期目は10年間の指定管理となっており、令和5年度は2期目の最終年度になります。また、3期目の10年間も指定管理者に指名されており、来年度から3期目に入ります。当学園の収益事業の事業活動計算書の状況を経年比較したものは、次頁のとおりです。

社会福祉事業 事業活動計算書

(単位：円)

科 目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 益	保育事業収益	69,035,000	68,740,500	71,794,000	73,259,500	74,790,300
	雑収入	1,983,900	2,960,964	3,313,150	7,145,820	3,409,060
サービス活動収益計(1)		71,018,900	72,084,442	76,038,930	80,405,320	78,199,360
費 用	人件費	60,646,260	60,761,697	66,972,238	70,351,310	68,740,497
	事業費	7,026,974	7,132,357	6,775,895	6,846,761	6,608,348
	事務費	2,307,390	2,476,757	2,639,620	2,582,509	2,997,760
サービス活動費用計(2)		70,116,218	70,405,607	76,470,949	79,937,751	78,678,852
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		902,682	1,678,835	△432,019	467,569	△479,492
	利用者等外給食収益	870,220	871,350	918,990	936,340	806,840
	雑収入	0	100,000	150,000	0	0
サービス活動外収益計(4)		870,220	971,350	1,068,990	936,340	806,840
サービス活動外費用計(5)		0	0	0	0	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		870,220	971,350	1,068,990	936,340	806,840
経常増減差額(7)=(3)+(6)		1,772,902	2,650,185	636,971	1,403,909	327,348
特別収益計(8)		0	0	0	0	0
特別費用計(9)		0	0	0	0	0
特別増減差額(10)=(8)-(9)		0	0	0	0	0
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		1,772,902	2,650,185	636,971	1,403,909	327,348
繰 越 増 減 差 額	前期繰越活動増減差額(12)	35,575,058	37,347,960	40,388,145	41,025,116	42,429,025
	当期末繰越活動増減差額(13)	37,347,960	39,998,145	41,025,116	42,429,025	42,756,373
	基本金取崩額(14)	0	390,000	0	0	0
	その他積立金取崩額(15)	0	0	0	0	0
	その他積立金積立額(16)	0	0	0	0	0
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	37,347,960	40,388,145	41,025,116	42,429,025	42,756,373

⑦ 関連当事者等との取引の状況

関連当事者との取引は、次のとおりである。

当事者名：株式会社キクタケ（資本金：1千万円 名古屋市東区 文具、OA機器等販売業）

関 係：常務理事の弟（理事長の叔父）が代表者

年間取引額：26,789,819 円

期末未払金残高：473,632 円

#### IV. 学校法人間財務取引

当学校法人と他の学校法人との財務取引はございません。

#### V. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策、

令和5年度も経営計画に沿って各部門の自立のための在籍者数を明示して事業計画を推進し、学園全体としての黒字定着化を目指しました。中期経営計画における各部門の入学者獲得目標・在籍者目標及び実績は次頁の表の通りでした。

入学者・在籍者目標及び実績

令和5年5月1日現在

	大学	短大	高校	通信制	幼稚園	菊専門	NWFB	全体
入学者目標	200人	205人	300人	240人	72人	290人	180人	1,487人
入学者実績	168人	81人	367人	254人	42人	284人	181人	1,377人
目標対比	△32人	△124人	67人	14人	△30人	△6人	1人	△110人
在籍者目標	760人	410人	830人	580人	209人	600人	300人	3,689人
在籍者実績	750人	213人	991人	728人	157人	693人	299人	3,831人
目標対比	△10人	△197人	161人	148人	△52人	93人	△1人	142人

※学校名のNWFBは、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院を言う

中期事業計画に基づき各部門の事業計画に明記された令和5年度の入学者獲得目標・在籍者目標は、前年度実績を受け目標が引き上げられた部門が多く、学園全体として5年度目標を達成できませんでした。各年度の在籍者目標は、各部門の入試広報体制の実情に応じてたてられている為、中期事業計画の目標在籍者数に達していない部門もありますが、中期事業計画の全体目標在籍者数は越えることができ、本部を除く全部門黒字化とまではいっていませんが4期連続して学園全体としての黒字は維持することができました。

「少子化の進展とともに年々厳しくなる学生・生徒・園児募集にどれだけ成果を挙げられるか？」言い換えれば「各部門が自立に必要な入学者を安定的に確保し、中途退学者を減らし、損益分岐点在籍者以上の在籍者を安定的に確保していくこと」が対処すべき最優先課題であることになりました。大学・高校・専門学校の入学者を安定的・継続的に確保していくことが重要です。短大や幼稚園など入学者（入園者）確保に苦しんでいる部門は、目標在籍者数を損益分岐点在籍者数迄引き下げ、知恵を出し、汗を出し、それぞれにおいて試行錯誤しながら財政的に自立できる入試広報体制の構築と教育改革を図っていきます。